

2019年4月

## 臨床研究実施のお知らせ

### 研究名：当院におけるリウマチ性髄膜炎の症例集積

リウマチ性髄膜炎は関節リウマチの希少な合併症で、多彩な症状を呈する事から脳血管障害や認知症などと判断されてしまう事があります。

少数例の報告しかないため現在確率した診断基準がありません。過去の報告では治療介入が遅れてしまったため重度の後遺症を残してしまった事例も見受けられます。

本疾患の臨床および検査所見の特徴を検討し、早期診断・治療に役立てたいと考えております。

本研究においては、2010年4月から2018年4月の期間に当院脳神経内科でリウマチ性髄膜炎と診断された患者さんを対象としてカルテ記録を参照します。したがって、研究のために検査を追加するなど、患者さんの負担となるような行為は行いません。また、本研究の結果が、学会で発表される場合がありますが、患者さんの氏名、生年月日、住所その他、個人を特定できる情報は一切公開いたしません。

上記条件に該当する患者さんの中で、本研究の対象となることを拒否される場合は、当院脳神経内科の八木田薫まで御一報下さい。なお、拒否されることで患者さんに不利益が生じることは一切ございません。

※本研究に対して知的財産権が生じた場合、その権利は当院あるいは研究者に属し、患者さんには属しません。

天理よろづ相談所病院 脳神経内科シニアレジデント

八木田 薫

連絡先：電話番号 0743-63-5611（代表）